

ニュースレター ぶどうの木



第24号

2024年12月



「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。

人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。」

(ヨハネ福音書15章5節)



クリスマスはなぜ「メリー」なのか ークリスマスを迎える心ー

学長 渡邊 頼純

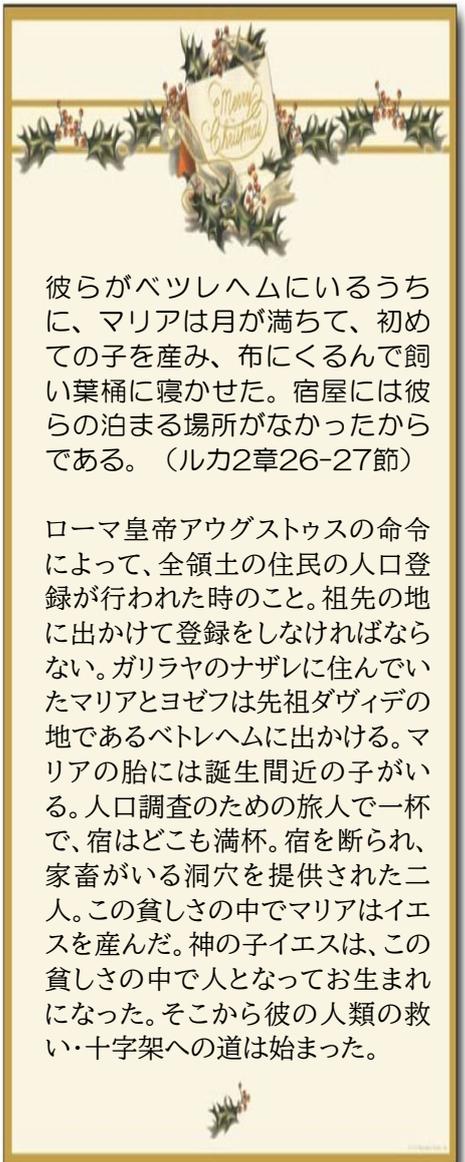
12月1日(日)はキリストの降誕を待ち望みそれに向けて心の準備をする「待降節」(英語ではAdvent)の最初の日曜日でした。本学ではこの日に「藤Open Research Forum (ORF)」を札幌市内の地下街「チ・カ・ホ」で開催し、教職員・学生が一体となって藤の教育研究の成果を広く歩行者たちに紹介しました。その意味ではORFが大学としての待降節の行事の一つになったと言えるかもしれません。

学生の皆さんもきっとクリスマスを楽しみにしていらっしゃるでしょう。すでに街中ではデパートやショッピングモールなどでクリスマスに向けた飾りつけが大々的に行わ

れており、きれいなイルミネーションやクリスマスツリーが人々を惹きつけています。街中に「メリー・クリスマス」(Merry Christmas)のサインが溢れて、人々は徐々に何となくうきうきした気持ちになってきていますね。

本学でも12月2日(月)には北16条キャンパスの玄関ホールでクリスマスツリーの点灯式が行われ、大勢の学生が参加しました。

一般的には12月24日のクリスマス前夜祭である「クリスマス・イヴ」にお祝いすることが多いと思いますが、そのお祝いの仕方は日本と欧米諸国では相当異なっています。日本ではクリスマスは割と賑やかな感じ



彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。(ルカ2章26-27節)

ローマ皇帝アウグストゥスの命令によって、全領土の住民の人口登録が行われた時のこと。祖先の地に出かけて登録をしなければならぬ。ガリラヤのナザレに住んでいたマリアとヨゼフは先祖ダヴィデの地であるベツレヘムに出かける。マリアの胎には誕生間近の子がいる。人口調査のための旅人で一杯で、宿はどこも満杯。宿を断られ、家畜がいる洞穴を提供された二人。この貧しさの中でマリアはイエスを産んだ。神の子イエスは、この貧しさの中で人となってお生まれになった。そこから彼の人類の救い・十字架への道は始まった。

